

# 子育て父ちゃんの泣き笑い パート22

## 「成長にありがとう」長島 正喜さん

(桔平くん・一樹くんのお父さん)

私は、6歳と1歳になる息子の父親です。

長男は、4月から小学生になるということもあり、たまにわがまま坊主になりますが、ある程度は自分でできるようになって、大分成長したと思います。次男は最近、「パパ」ということばを覚え、初めは私に対して言っていると思い嬉しかったのですが、だれを見ても何を見てもパパというので、少し残念な思いをしたところでした。

私は仕事が交代勤務ということもあって、休みも不規則な為、子どもの保育園が休みの時も、仕事で家に居ないことが多い、子どもたちには淋しい思いをさせているのではないかと思っています。同時に、妻や近所に住む祖母にも負担をかけていると思いますので、日頃の協力にとても感謝しています。子育てに関わる時間はあまり多くはないかもしれません、これからも保育園の先生方やまわりの方々への感謝の気持ちを忘れず、子ども達の成長を見守っていきたいと思います。



## 成長日記 パート17 『目に見えないこころの育ち』 ~子どもの育ちをささえる保育者の一言~

食事時のおかわりの場面である



その日の果物はミカンで、入れ物の中に輪切りのミカンがひとつ。

5歳男児が、弁当のふたを持ちミカンの場所に並ぶ。その後ろに、3歳女児も並ぶ。

男児は、トングでミカンを挟み弁当のふたに入れ、自分の席へ戻る。その後に女児が行く。

入れ物を見て「なかった…」と残念そうに席に戻る。

男児の隣でその様子を見ていた保育者が「○○ちゃんも並んでいたよ」とささやく。

男児は、ミカンの皮をむき半分にするとスッと立ち、女児の元へ。「はい、あげる」とふたへ置く。

女児は、置かれたミカンを見て「えっ！」男児は席に戻りミカンをほおばる。

幼稚園に食事室ができ、3クラス一緒に食事をとっている。異年齢交流もあり、上の子はやり方を教えたり面倒を見たり世話を喜ぶ姿があり、下の子は上の子を見て真似たり憧れの気持ちを持つたりする。

事例は、保育者が男児の行動に感激した場面である。男児の耳元で「すごい。○○ちゃん喜んで食べたみたいだね」と言うと耳を塞ぎ照れている。一瞬の出来事だが、彼の中で自分をしっかり見ていてくれている、自分を大切に思ってくれていることを感じたのではないかと思う。また、保育者のちょっととしたことばがけで気づいて、自分から行動している。男児の咄嗟の判断は、集団の中で葛藤しながらも確実に育っている、目には見えない心の育ちだと思う。今まで見られなかった育ちに気づけたこと、そして、保育者の「一言の重み」を感じる。

ことばには、いろいろな力がある。心に響くことばや幸せを感じることばは、周りを温かくし励ましてくれる。場面や状況を捉えながら、子どもたちの今をささえることができる保育者集団でありたい。

(記 遠藤)

## 編集後記

新園舎での様子をお伝えしました。子どもたちは、笑ったり泣いたりと様々な表情を見せながら友だちや職員と触れ合って、第2のお家となるような、温かい雰囲気になっています。この温かい雰囲気を大切にしながら、今後も、保護者の方や地域の方のご協力をいただき、共に子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

(記 大塚)

# あのね

第25号  
2015.3.1

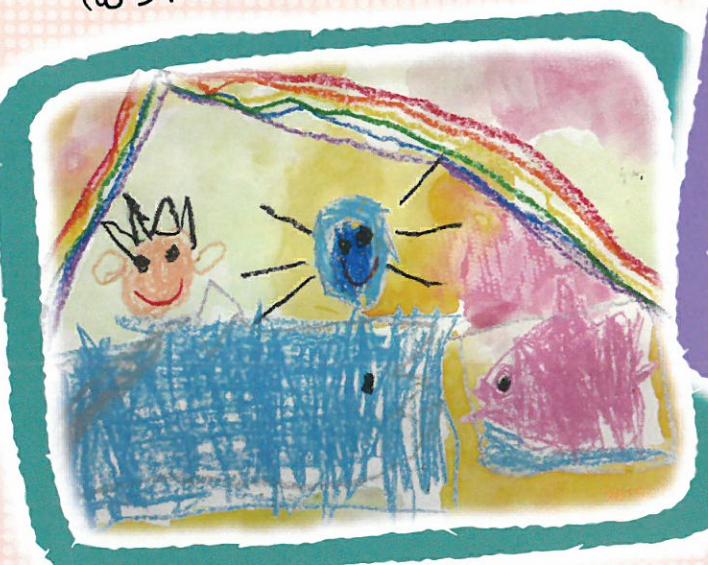
興道南部保育園  
米沢市本町一丁目1-84  
TEL 0238-21-3756



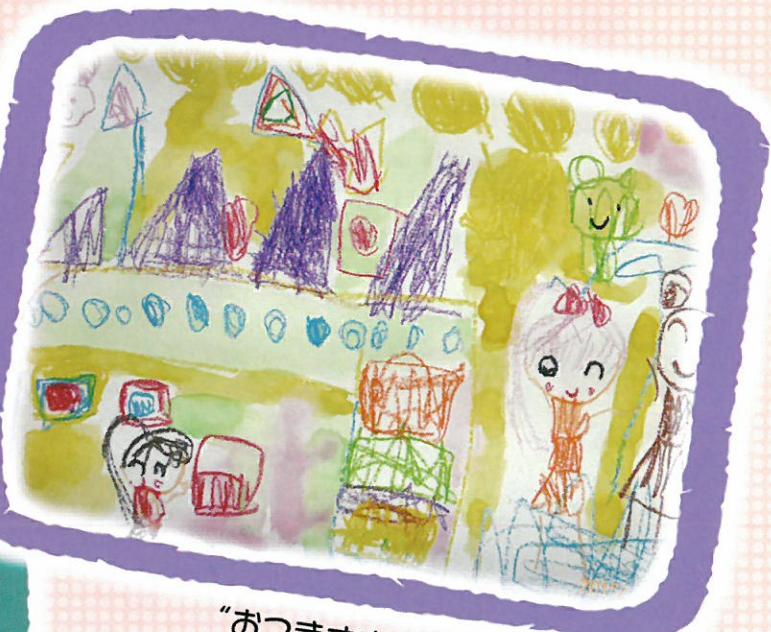
“おかしのいえとおかしのくに”  
(さとう ゆいとくん 5歳児)



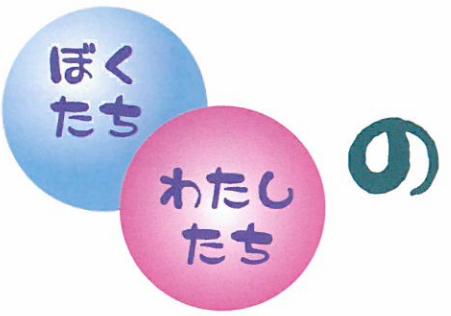
“3けつとのいえ”  
(ふじわら かえでくん 5歳児)



“どらえもんとぼくのいえ”  
(むらやま らいきくん 5歳児)



“おつきさまのいえ”  
(しげの そらさん 5歳児)



# の あたらしい園舎



新しい園舎に移つて1年が経ちました。子どもたちにとって第2の“家”である園舎。お釈迦様・お地蔵様が見守ってくださる明るい新園舎では、毎日子どもたちの元気な声が響いています。

食事室でみんな一緒に食事したり、園庭やベランダで遊びながら、大きい子が赤ちゃんたちに声をかけたりと、日々の生活の中で自然と異年齢のかかわりも生まれ、あつたかい“園舎”となっています。

また、夏まつりや運動会の行事は、保護者の皆様のご協力のもと、子どもたちものびのびと楽しむことができ、園舎を前にしてあたたかい雰囲気の行事となりました。



## 「子どもたちと過ごして」

主事 平岡孝規

4月から主事として従事させていただき、あつという間に1年が経過しようとしています。振り返ってみると、初めて保育園で勤務することになり不安だった入園式。しかし、子どもたちと触れ合うことで、元気いっぱいの姿やたくさんの笑顔と接することができる喜びに変わりました。日々様々なことを吸収して成長し、お兄さん、お姉さんへと変わっていく姿を見ることができる、とても責任を感じます。自分が元氣な成長」を叶ねばと願っております。

新園舎となり、新たな景色で四季の移り変わりを感じながら過ごした子どもたち。これからも素敵な未来に向かって、すくすくと育っていくことを願います。

## 分園「光」おさんぽコース

# あんなこと こんなとこ たくさん いつたよ!

《遊歩道》新幹線が見えるよ!!



《けものみち》わくわく・どきどき



《小学校》広くてきもちいいよ!



《雪あそび》  
雪、いっぱいあつてたのしいねえ



《河川敷》  
たくさん歩けるようになつたよ



《六十里鯉屋さん》  
いっぱいの鯉にちょっとびっくり



## 編集後記

米沢に避難してきたお子さんやお家の方が“安心、安全な環境で過ごせる保育園を”という思いでスタートした分園「光」がこの3月で閉園となります。とても淋しいことですが、子どもたちやお家の方には『ここで過ごした日々をまたいつか思い出してもらえたならなあ』と思っています。これが最後の情報誌となります。子どもたちの生き生きした表情やお家の方からの思い出のページを綴りました。

今までお力添えや温かいお言葉など頂いた多くの方々に感謝申し上げます。“ありがとうございました”

(佐藤記)

興道南部保育園「あのね～」  
第25号別冊

# 分園「光」

2015.3月発行  
米沢市東一丁目6-103  
TEL 0238-23-1675



3年前12名のお友だちが入園して、  
分園「光」での生活がスタートしました



心と身体が大きく成長した17名のお友だちが  
それぞれの場所へ巣立っていきます

ありがとう☆さようなら  
ぼくたち・わたしたちの分園「光」



おしゃかさま  
ありがとうございます



福島市の隣地に有りながら少しでも支えになればと思い、平成24年1月に開設した分園「光」は、今年3月で閉園となります。

あっという間の三年余でしたが、この間を通じて出会った子どもたちや保護者の方々、そして地域の方やボランティアの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。

子どもたちやお家の方に“安心、安全な生活を送ることができる環境”を大切にしたいという思いと、明るく・ほのぼのと・分け隔てなく「光」を注ぎ注がれていくたいという願いを込めてスタートしたその当時でした。

時を経て、私たちの現在の心情を申し上げますと、子どもたちの心と身体の成長をお家の方々と共に喜び合えたことを大変嬉しく思います。

本当にありがとうございました。園長 菊池 道喜



# 分園『光』でのおもいで



海藤 こまちさん  
海藤 大智くん

- ①姉と弟2人で一緒にあそびを見つけて楽しんでいる時。
- ②密着型保育というか少人数だけど、母体がしっかりしていて安心できました。先生方に恵まれ、ボランティアさんのおかげで楽しめるイベントがあったのも大変ありがたかったです。
- ③「上杉節」でしょうか。歴代みんなの上杉節が見られて嬉しいです。もちろん家の子も。そして、園を離れてしまった子も遊びにきてくれた夏まつりも良かった。



志賀 創太くん

- ①得意になったこと(おりがみ、あやとり)を、先生になって家族に教えてくれる時。
- ②先生方全員が子どもの特長をよく知ってくれて、それに向き合いじっくりつきあってくれるところ。
- ③上杉節でのかっこいい、凛々しい姿にとても感動しました。小さい袴で一生懸命踊る姿、忘れられない思い出になりました。

## あんなこと＊こんなこと おしゃべ～！

今回はお母さん方から下記の3点を質問して答えて頂きました。子どもたちの成長と共に、思い出が蘇ってきます。

- ①お子さんが“おおきくなったな”を感じるのはどんな時ですか？
- ②分園『光』に入って良かったなと思うことは何ですか？
- ③分園『光』での一番の思い出は何ですか？



舟山 永祐くん

- ①自分の考えや思っていることを話したり、自分で本を読んでいる姿を見て大きくなったり成長を感じます。
- ②少人数ならではのアットホーム感がとても好きでした。先生方からたくさんの愛情をかけて頂き、とても感謝しています。
- ③クリスマス会の発表や上杉節の踊りは、とても成長を感じる時間でした。そして、先生方の発表も親子共々楽しませて頂きました。



黒脣 万愛さん

- ①園に入園する前にできなかったことが、どんどんできる様になってきたことです。
- ②先生と園児の距離感がとても近く感じ、私たちと共に子どもの成長を楽しみにしてくれる所が、とても嬉しく思います。
- ③入園して初めての行事の“運動会”です。みんなリズム運動をしている所や一生懸命走っている所を見て、子どもにとって保育園に入園して学ぶこともすごく大切なことだと感じました。

塙田 大和くん

- ①いちょ前のことが言えるようになってきたこと。質問したりそれは違うでしょうと発言したりが増えたこと。
- ②人数が少ない分、先生方の子どもたちへのふれ合いも多くの一人ひとりを見て下さったこと。とても安心しながら登園できることを誇りに思います。
- ③お遊戯会の出し物、園児以外に先生方の出し物も心に残ります。各イベント(運動会、夏まつり、ボランティアさんとのふれ合いなど)すべてにおいて心に残ります。特にびかびか発表会がとてもよかったです。



渡邊 希夢さん

- ①先生の話を聞き、理解し、私に伝えることがしっかりして立派だなあと思います。
- ②少人数ならではのアットホームな感じがすごく心地良かったです。何より先生方の温かさや一人ひとりの子どもたちにたくさんの愛情を注いで下さる姿に大変ありがとうございました。
- ③びかびか発表会です。本番に向けて毎日の練習を頑張っているんだなあと話を聞き、当日あの立派な姿を見ると、涙が出ました。



上野 海翔くん

- ①相手に対し配慮のできる行動がとれるようになった時です。(自分のおもちゃを相手に快く貸す姿を見ていると、我慢と配慮ができるようになった)
- ②保育士たちが放射能や避難について独自に学ばれており、不安なことに相談にのって頂きました。子どものメンタルケアだけでなく、保護者のメンタルケアまで行って頂き育児の悩みや避難のストレスが解消しました。
- ③今年度の“びかびか発表会”です。毎年、年長さんの舞う“杉節”に憧れていますが、今年度は、一生懸命に踊る息子の姿に成長を感じました。



矢橋 咲季さん  
矢橋 志帆さん



- ①ことばの発達や図画工作が自分でできるようになったこと。
- ②親同士が同郷の方たちと話せたこと。廃材の再利用、リズム運動、外あそびなどでが素朴で、子どもの力を育むのにとてもいいと惚れ込んでおりました。

- ③運動会や芋煮会に父親と参加したことや、連絡帳に貼ってある写真を見てその日あったことを話してくれるはりきった表情の娘たちそのものが、全ていい思い出です。

瀧川 薫夢くん

- ①入園当時は1歳だったむーさんも、今では4歳になり話せば会話になり、お手伝いまでしてくれるようになり日々成長を感じています！
- ②上杉節をはじめ、米沢の文化や風土を肌で感じられたところです。
- ③毎年恒例の運動会、芋煮会、発表会や先生方の出し物です。(笑)



佐久間 秀翔くん  
佐久間 美咲くん

- ①言葉を理解し、自分の意志や考えを伝えてくれるようになった時。
- ②少人数だったためか、子どもの個性が早く出てきたと感じるところ。園児一人ひとりに先生の目が行き届いたところ。先生方と親のコミュニケーションと連携の深さ。
- ③運動会などの親子参加の行事や先生方の仮装。



菊池 那奈さん  
菊池 悠翔くん

- ①意味のある言葉をしゃべり始めた時や会話ができるようになった時です。
- ②アットホームな雰囲気があり、気軽に育児相談ができたことです。また、年上や年下の子どもと一緒に遊ぶことができ、子どもにとってよい経験になったと思います。
- ③最後の“びかびか発表会”です。大勢の前で歌ったり、演技をしたりする姿に感動しました。



安田 凜音さん  
安田 華音さん

- ①言葉や歌をいつの間にか言う時。
- ②少人数だからこそ、先生と子どもそして、親ときちんと向き合うことができていると思う。私にとっても初めての保育園が分園『光』でよかったです。
- ③発表会でステージに立った我が子の姿に感動しました。また、先生方のサブライズ劇もおもしろく、一人で笑い泣きてしましました。そんな私の姿にパパは引いていましたが(笑)

